

大学番号：061

注3

[平成27年度設置]

計画の区分：学部^{注1}の学科の設置

注1

事前伺い

和歌山大学 システム工学部 システム工学科

注2

【意見伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 和歌山大学

平成27年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 企画課

職名・氏名 企画課長 ^{ミナカタ}南方 ^{ノブユキ}伸之

電話番号 073-457-7059

（夜間） 073-457-7059

F A X 073-457-7020

e-mail kikaku@center.wakayama-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部(平成◇◇年度より変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成27年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

システム工学部

<システム工学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	14
4. 既設大学等の状況	15
5. 教員組織の状況	16
6. 留意事項等に対する履行状況等	18
7. その他全般的事項	19

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 和歌山大学

(2) 大学名

和歌山大学

(3) 大学の位置

〒640-8510

和歌山県和歌山市栄谷930番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長			
理事			
学部長			
学科長等			

該当なし

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成25年度に報告済の内容 → (25)

平成27年度に報告する内容 → (27)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成24年度開設の4年制の学科の場合(平成27年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
システム工学部 システム工学科 学士(工学)	4年	305人	20人 3年次	1260人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 提出年度まで の平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	305人 () []	—人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	1.00倍	一倍	
志願者数	1164 () []	— () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
受験者数	798 () []	— () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
合格者数	361 () []	— () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
B 入学者数	305 () []	— () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
入学定員超過率 B/A	1.00										

- (注) ・ 数字は, 平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。
 ・ 「開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率」は, 完成年度を越えて報告書を提出する大学(「改善意見等対応状況報告書」を提出する大学)のみ記入してください。「設置計画履行状況等報告書」の場合は「—」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] (-) 305	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次			/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()
4年次	/				[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()
計			[-] (-) 305	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()

- (注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況**について、**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成27年度 入学者	305 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人		0 %
			平成28年度	人	人		
			平成29年度	人	人		
			平成30年度	人	人		
平成28年度 入学者	人	人	平成28年度	人	人		%
			平成29年度	人	人		
			平成30年度	人	人		
平成29年度 入学者	人	人	平成29年度	人	人		%
			平成30年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	人	平成30年度	人	人		%
合 計	305 人	0 人					0 %

(注)・数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成27年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<システム工学部 システム工学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手			
	英語初級Ⅰ	1前	2									兼1	
	英語初級Ⅱ	1後	2									兼1	
	英語中級Ⅰ	2前	2									兼1	
	英語中級Ⅱ	2後	2									兼1	
	ドイツ語Ⅰ	1前	4									兼1	
	ドイツ語Ⅱ	1後	4									兼1	
	フランス語Ⅰ	1前後	4									兼1	
	フランス語Ⅱ	1後	4									兼1	
	中国語Ⅰ	1前	4									兼1	
	中国語Ⅱ	1後	4									兼1	
	ハングルⅠ	1前	4									兼1	
	ハングルⅡ	1後	4									兼1	
	日本語Ⅰ	1前	2									兼1	
	日本語Ⅱ	1後	2									兼1	
	言語学	1・2・3・4前後	2									兼1	
	経済学の考え方	1・2・3・4前後	2									兼1	
	数学AⅠ	1・2・3・4前後	2									兼1	
	数学AⅡ	1・2・3・4前後	2									兼1	
	哲学	1・2・3・4前後	2									兼1	
	国際化時代の文化と思想	1・2・3・4前後	2									兼6 兼8	授業内容の見直しにより担当教員を変更(27)
	地球学	1・2・3・4前後	2									兼1	
	音楽学	1・2・3・4前後	2									兼1	教員の退職に伴う廃止(27)
	宇宙科学	1・2・3・4前後	2									兼2	
	考古学	1・2・3・4前後	2									兼1	
	食と健康	1・2・3・4前後	2									兼1	
	「いのち」と「かたち」のフィロソフィア	1・2・3・4前後	2									兼1	
	民俗芸能論	1・2・3・4前後	2									兼1	
	現代の宗教学	1・2・3・4前後	2									兼1	
	西洋美術史 美術史	1・2・3・4前後	2									兼1	授業内容をより適切に反映した科目名に変更(27)
	心理学概論	1・2・3・4前後	2									兼1	
	観光と色彩	1・2・3・4前後	2									兼1	
	外国文学	1・2・3・4前後	2									兼3	
	現代日本の表現	1・2・3・4前後	2									兼1	
	日本古典文学	1・2・3・4前後	2									兼1	
	英語の歴史	1・2・3・4前後	2									兼1	
	ことばと文化	1・2・3・4前後	2									兼1	
	記憶力と認知力	1・2・3・4前後	2									兼1	
	心理学総論	1・2・3・4前後	2									兼1	
	人文地理学	1・2・3・4前後	2									兼1	
	日本の文化と国際交流	1・2・3・4前後	2									兼1	
	教養としての政治学	1・2・3・4前後	2									兼1	教育カリキュラムの見直しにより廃止(27)
	国際開発論	1・2・3・4前後	2									兼1	
	世界の観光・日本の観光	1・2・3・4前後	2									兼1	教員の退職に伴う廃止(27)
	歴史学	1・2・3・4前後	2									兼1	
	JAPAN STUDY 1	1・2・3・4前後	2									兼1	
	ASEANと日本	1・2・3・4前後	2									兼1	
	JAPAN STUDY 2	1・2・3・4前後	2									兼1	
	社会哲学	1・2・3・4前後	2									兼1	
	地域づくり概論	1・2・3・4前後	2									兼1	
	企業の仕組み	1・2・3・4前後	2									兼1	
	日本国憲法	1・2・3・4前後	2									兼1	
	生活を創る	1・2・3・4前後	2									兼5	
	現代の観光	1・2・3・4前後	2									兼1	教員の退職に伴う廃止(27)
	「教養の森」ゼミナール6 「教養の森」ゼミナール4	1・2・3・4前後	2				1					兼6 兼4	授業内容の見直しにより担当教員・科目名を変更(27)
	「教養の森」ゼミナール7 「教養の森」ゼミナール5	1・2・3・4前後	2				1					兼6 兼4	授業内容の見直しにより担当教員・科目名を変更(27)

教 養 科 目	21世紀サイエンス論	1・2・3・4前後	2	1	1				兼2
	21世紀大学論	1・2・3・4前後	2						兼3
	21世紀KUMAGUSU学	1・2・3・4前後	2						兼1
	21世紀図書館学	1・2・3・4前後	2						兼1 授業カリキュラムの見直しにより 廃止 (27)
	Survey of Pre-Modern Japanese Poetry in Translation	1・2・3・4前後	2						兼1
	21世紀文学論	1・2・3・4前後	2						兼1
	21世紀ファッション学	1・2・3・4前後	2						兼1
	Survey of Pre-Modern Japanese Prose in Translation	1・2・3・4前後	2						兼1
	21世紀倫理学	1・2・3・4前後	2		1				兼2
	観光と地域の活性	1・2・3・4前後	2						兼1
	わかやまを学ぶ	1・2・3・4前後	2		1				兼5 授業内容の見直しにより担当教 員を変更 (27)
	和歌山の歴史と文化	1・2・3・4前後	2						兼4 教育カリキュラムの見直しによ り廃止 (27)
	熊野古道と世界遺産	1・2・3・4前後	2						兼1 教育カリキュラムの見直しによ り廃止 (27)
	キャリアデザインを考える	2 前	2						兼4 授業内容の見直しにより担当教 員を変更 (27)
	グローバル起業論	1・2・3・4前後	2						兼5 授業内容の見直しにより担当教 員を変更 (27)
	和歌山企業トップ経営論	1・2・3・4前後	2		1				兼1 授業内容の見直しにより担当教 員を変更 (27)
	教育学概論	1・2・3・4前後	2						兼1
	情報通信システムのしくみ	1・2・3・4前後	2		2	4	1		兼1
	学生生活の危機管理	1・2・3・4前後	2						兼2
	情報科学入門	1・2・3・4前後	2		5	2	1		
	教育学総論	1・2・3・4前後	2						兼1
	海外留学入門	1・2・3・4前後	2						兼1
	日本事情	1・2・3・4前後	2						兼1
	日本文化と入門ビジネスジャパニーズ1	1・2・3・4前後	2						兼1
	大学生の読み書き 大学生の読み書きI	1・2・3・4前後	2						兼3 授業内容の見直しにより科目名 を変更 (27)
	海外語学・社会演習A	1・2・3・4前後	2						兼2
	海外語学・社会演習C	1・2・3・4前後	2						兼2
	海外語学・社会演習D	1・2・3・4前後	1						兼1
	大学生の読み書きII	1・2・3・4前後	2						兼3 教育カリキュラムの見直しによ り廃止 (27)
	外国語としての日本語を学ぶ	1・2・3・4前後	2						兼1
	日本文化と入門ビジネスジャパニーズ2	1・2・3・4前後	2						兼1
	海外語学・社会演習B	1・2・3・4前後	2						兼1
	基礎協働演習	1 前 1・2・3・4前 後	2		2		1		兼2 授業内容の見直しにより担当教 員・配当年次を変更 (27)
熊野フィールド体験A	1・2・3・4前後	2		1	1			兼4 授業内容の見直しにより担当教 員を変更 (27)	
ソフトスキル論	1 後 1・2・3・4前 後	2		1	1			兼2 授業内容の見直しにより担当教 員・配当年次を変更 (27)	
農村の仕事と技術の魅力	1・2・3・4前後	2						兼1	
地域協働演習	1・2・3・4前後	2		1				兼2 授業内容の見直しにより担当教 員を変更 (27)	
熊野フィールド体験B	1・2・3・4前後	2		1	4			兼3 授業内容の見直しにより担当教 員を変更 (27)	
リーダーシップ・チームワーク実習	1・2・3・4前後	2						兼2	
わかやま海洋環境体験実習	1・2・3・4前後	2						兼3 教育カリキュラムの見直しによ り廃止 (27)	
自主演習	1・2・3・4前後	2		33	32	3	13	兼185 全教員が担当可。教員数の変化 により変更 (27)	
紀州郷土学2A 紀州郷土学C	1・2・3・4前後	2		29	36	4	10	兼182	
高齢化社会の住まいと地域環境	1・2・3・4前後	2		1				兼4 授業内容の見直しにより担当教 員・科目名を変更 (27)	
地域暮らしの安全学D 地域暮らしの安全学B	1・2・3・4前後	2		1	2		1	兼2 教育カリキュラムの見直しによ り廃止 (27)	
みんなの科学入門	1・2・3・4前後	2		3	2			兼5 授業内容の見直しにより担当教 員・科目名を変更 (27)	
紀州郷土学2B 紀州郷土学D	1・2・3・4前後	2		1	2			兼5 教育カリキュラムの見直しによ り廃止 (27)	
				1				兼5 授業内容の見直しにより担当教 員・科目名を変更 (27)	

	食と農の経済学	1・2・3・4前後	2						兼1	教育カリキュラムの見直しにより廃止 (27)	
	地域暮らしの安全学C	1・2・3・4前後	2						兼6	教育カリキュラムの見直しにより廃止 (27)	
	地域づくり戦略論A 地域づくり戦略論	1・2・3・4前後	2						兼1	授業内容の見直しにより科目名を変更 (27)	
	西ヨーロッパの文学と社会	1・2・3・4前後	2						兼2	教育カリキュラムの見直しにより廃止 (27)	
	現代健康・スポーツ論S	1・2・3・4前後	2						兼2		
	スポーツ実習 I	1 前	1						兼1		
	スポーツ実習 II	1 後	1						兼1		
	体育一般	1 前後	1						兼1		
	社会科学方法論	1・2・3・4前後	2						兼1	教育カリキュラムの変更 (27)	
	「学問」と私1	1・2・3・4前後	2		1				兼12	教育カリキュラムの変更 (27)	
	ミュージアムを使う	1・2・3・4前後	2						兼1	博物館学芸員資格科目の開講 (27)	
	「学問」と私2	1・2・3・4前後	2						兼1	教育カリキュラムの変更 (27)	
	ミュージアムを創る	1・2・3・4前後	2						兼1	博物館学芸員資格科目の開講 (27)	
	障がい学生支援概論	1・2・3・4前後	2						兼3	教育カリキュラムの変更 (27)	
	日本美術史	1・2・3・4前後	2						兼1	教育カリキュラムの変更 (27)	
	国際協力論	1・2・3・4前後	2						兼1	教育カリキュラムの変更 (27)	
	世界遺産から考えるアジアの未来	1・2・3・4前後	2						兼1	教育カリキュラムの変更 (27)	
	21世紀ミュージアム学	1・2・3・4前後	2						兼1	博物館学芸員資格科目の開講 (27)	
	熊野スタディーズ	1・2・3・4前後	2						兼2	教育カリキュラムの変更 (27)	
	地域図書館論	1・2・3・4前後	2						兼1	教育カリキュラムの変更 (27)	
	わかやまの先人たち	1・2・3・4前後	2						兼1	教育カリキュラムの変更 (27)	
	景観と日本人	1・2・3・4前後	2						兼1	教育カリキュラムの変更 (27)	
	ミュージアムで学ぶ	1・2・3・4前後	2						兼1	博物館学芸員資格科目の開講 (27)	
	自然災害と防災・減災	1・2・3・4前後	2		1	2			兼5	教育カリキュラムの変更 (27)	
	博物館資料保存論	1・2・3・4前後	2						兼4	博物館学芸員資格科目の開講 (27)	
	博物館資料論	1・2・3・4前後	2						兼4	博物館学芸員資格科目の開講 (27)	
	ビジュアルコミュニケーション	1・2・3・4前後	2						兼1	博物館学芸員資格科目の開講 (27)	
	博物館実習 I	1・2・3・4前後	2						兼3	博物館学芸員資格科目の開講 (27)	
	博物館展示論	1・2・3・4前後	2						兼1	博物館学芸員資格科目の開講 (27)	
	漱石と大阪	1・2・3・4前後	2						兼1	教育カリキュラムの変更 (27)	
	市民活動の歴史と課題	1・2・3・4前後	2						兼2	教育カリキュラムの変更 (27)	
	地域暮らしの健康学A	1・2・3・4前後	2						兼3	教育カリキュラムの変更 (27)	
	地図で地域をみる・発信する	1・2・3・4前後	2			1			兼2	教育カリキュラムの変更 (27)	
	身の回りのデジタル機器のしくみ	1・2・3・4前後	2		4	1	1			教育カリキュラムの変更 (27)	
基礎科目	システム工学入門セミナー	1 前	2		13 10	12 20	1	4		【全メジャー共通】 授業内容の見直しにより担当教員を変更 (27)	
	メジャー紹介講義1	1 前	2		5						
	メジャー紹介講義2	1 前	2		5						
	メジャー体験演習A☆	1 後	1		2	2					
	メジャー体験演習B☆	1 後	1		2	2					
	メジャー体験演習C☆	1 後	1		2	2					
	メジャー体験演習D☆	1 後	1		2	2					
	メジャー体験演習E☆	1 後	1		2	2					
	線形代数 1	1 前	2		1	4				兼2	授業内容の見直しにより担当教員を変更 (27)
	線形代数 2	1 後	2		1					兼1	授業内容の見直しにより担当教員を変更 (27)
	微積分 1	1 前	2		1	4				兼3	授業内容の見直しにより担当教員を変更 (27)
	微積分 2	1 後	2		1	4				兼2	授業内容の見直しにより担当教員を変更 (27)
	確率統計	1 後	2				2			兼2	授業内容の見直しにより担当教員を変更 (27)
情報処理I	1 前	2			4	3	1		兼3	授業内容の見直しにより担当教員を変更 (27)	
情報処理II	1 後	2			4	3	1		兼3	授業内容の見直しにより担当教員を変更 (27)	
基礎力学	1 前後	2		2							
基礎電磁気学	1 後	2		2							
基礎化学	1 前	2			2						
【ネットワーク情報学】	ネットワークアーキテクチャ★	2 前	2			1					
	情報理論	2 前	2				1				
	ネットワークアプリケーション★	2 後	2			1					
	ネットワーク演習★	2 後	2			1					
	データベースアーキテクチャ★	2 後	2		1						

オブジェクト指向プログラミング演習	2後	2		1					
ネットワークセキュリティ	3前	2			1				
無線通信システム	2後	2		1					
Webアプリケーション構築演習	3前	2			1				
ネットワーク情報学演習★	3後	2		1	3	2			兼3
【知能情報学】									
応用解析	2前	2				1			
人工知能★	2前	2		1					
信号とシステム★	2後	2			1				
アルゴリズム演習II	2後	2			1				
知能ロボット概論	3前	2		1					
パターン認識演習	3前	2		1					
ビジュアル情報演習	3前	2			2				
知能システム演習	3後	2		1	1		1		
ビジュアル情報論★	2後 3後	2			1				教育課程の見直しにより配当年次を変更(27)
知能情報学演習★	3後	2		5	3		1		
【機械電子制御】									
機械設計★	2前	2		1		1			
材料力学★	2前	2			1				
熱力学	2後	2			1				
流体力学★	2後	2			1				
機械力学★	2後	2			1				
コンピュータ工学	2後	2			1				
制御工学	3前	2			1				
システム工学	3前	2				1			
アクチュエータ工学	3前	2		1					
機械電子制御実験★	3前	2			1		1		
ロボット工学	3後	2			1				
ロボットビジョン	3後	2			2				
組込みシステム	3後	2				1			
制御系設計	3後	2		1	1				
機械電子制御研究実習★	3後	2		1	1		1		
【電子計測】									
デジタル回路	2前	2			1				
電磁気学★	2後	2		1					
電磁気学演習	2後	1			1				
光学★	2後	2		1					
計測とセンサ★	2後	2		1					
電子回路I	3前	2			1				
電磁波工学	3前	2		1					
アナログ信号処理	3前	2		1					
計測システム実験A★	3前	2			1		2		
電子回路II	3後	2			1				
光エレクトロニクス	3後	2			1				
デジタル信号処理	3後	2		1					
計測システム	3後	2			2				
計測システム実験B★	3後	2			2				
電子計測研究実習★	3後	2		1	1		1		
【化学】									
有機化学I	2前	2			1				
無機化学I	2前	2		1					
分析化学I	2前	2			1				
基礎化学実験★	2前	2			3				
有機化学II	2後	2			1				
分析化学II	2後	2			1				
構造解析	2後	2			1				
構造化学	2後	2		1					
化学演習★	2後	1			2				
有機理論化学	3前	2			1				
無機化学II	3前	2		1					

メ ジ ャ ー 科 目	高分子化学	3前	2	1						
	生物有機化学	3後	2	1						
	有機合成化学	3後	2		1					
	有機材料化学	3後	2		1					
	工業分析化学	3後	2		1					
	化学特論★	3後	2		2	5				
	応用化学実験★	3後	2		2	5				
										【応用物理学】
	力学★	2前	2			1				
	物性電磁気学I★	2前	2			1				
	物理数学	2前	2			1				
	物理学実験★	2前	2			5	1			
	物性電磁気学II	2後	2			1				
	量子力学I★	2後	2		1					
	固体物理学	2後	2			1				
	物理学演習★	2後	1			1	1			
	量子力学II	3前	2		1					
	統計力学	3前	2		1					
	半導体工学	3前	2		1					
	機能デバイス材料論	3後	2			1				
	光電子物性論	3後	2			1				
	ナノ結晶工学	3後	2			1				
	応用物理学特論★	3後	2		3	5		1		
	応用物理学実験★	3後	2		3	5		1		
										【環境デザイン】
	環境デザイン論	2前	2			1				
	建築概説★	2前	2							兼1
	生活環境システム	2前	2			1				
	森林環境学	2後	2		1					
	構造学★	2後	2		1					
	住環境設計製図☆	2後	2		2	3				
	構造計画	2後	2		1					
	建築計画	2後	2		1					
	地域環境管理	2後	2			1				
	緑地環境学	3前	2		1					
	都市デザイン	3前	2			1				
生態環境実験実習☆	3前	2		3	1	1				
生活環境設計製図☆	3前	3		2	3					
循環システム工学	3前	2			1					
建築・環境法規	3後	2			1				兼1	
都市環境設計製図☆	3後	2		2	3					
環境デザイン演習A	3後	2		4	5					
建設マネジメント	4前	2		1	3					
建築設備	4前	2							兼1	
建築デザイン演習B	4前	2		4	5					
									【環境化学】	
環境数理B	2前	2		1		1				
地球科学★	2前	2		1						
水環境実験実習☆	2前	2		3	1	1				
環境情報演習☆	2後	2			2					
地球環境化学	2後	2		1						
都市環境計画	2後	2		1						
構造力学★	2後	2							兼1	
防災工学	2後	2		1					兼1	
地域環境解析演習☆	3前	2		1	2					
水環境工学	3前	2		1						
水理学	3前	2		1		1				
産業エコロジー工学	3前	2		1						
構造材料実験実習☆	3後	2							兼1	
地盤工学	3後	2		1						
環境経済・政策学	3後	2							兼1	

リスクマネジメント	3後	2	1	2			兼1
環境科学演習	3後	2	3	3		1	
環境緑化法	4前	2					兼1
【社会情報学】							
情報システム基盤技術★	2前	2	1				
インターネット技術★	2前	2	1				
プログラム設計技法	2前	2		1		1	
プログラミング言語★	2後	2	1				
HCIデザイン★	2後	2		1			
情報システム開発演習☆	2後	2	2			1	
基礎情報工学	2後	2	1				
社会情報学セミナーI★	3前	2	3	2		2	
データマイニング	3前	2	1				
システム要求分析・評価法★	3後	2	1				
社会情報学セミナーII★	3後	2	3	2		2	
知能情報論	3後	2					兼1
アルゴリズム設計	3後	2		1			
システム設計情報論	4前	2					兼1
モバイルシステム技術論	4前	2	1				
【メディアデザイン】							
メディア情報数理★	2前	2	1				
デザイン制作☆	2前	2	1			1	
デザイン基礎概論★	2前	2	1		1	1	
デザイン企画論★	2後	2	1				
図形数理★	2後	2		1			
サウンドプログラミング演習☆	2後	1	1			1	
CG制作演習☆	2後	1		1			
デザイン表現演習☆	2後	1			1	1	
人間工学	2後	2				1	兼1
イメージ情報処理★	3前	2		1			
メディアデザインセミナーI★	3前	2	2	3	1	2	
メディアデザインセミナーII★	3後	2	2	3	1	2	
インテリアデザイン論	3後	2			1		
コンピュータグラフィックス★	3後	2		1			
ユーザエクスペリエンスデザイン	3後	2					兼1
コンピュータビジョン	4前	2		1			
音響設計論	4前	2	1				
CAD演習☆	4前	1				1	
【ネットワーク情報学・知能情報学】							
データ構造とアルゴリズム★	2前	2	1				
計算機システム★	2前	2		1			
アルゴリズム演習I★	2前	2	2	3	1		兼2
離散数学★	2前	2	1				
論理回路★	2前	2	1				
システムソフトウェア★	2後	2	1				
情報システム実験★	3前	2		2		1	
【機械電子制御・電子計測】							
複素解析★	2前	2		1			
複素解析演習	2前	1		1			
微分・ベクトル解析★	2前	2	1				
微分・ベクトル解析演習	2前	1		1		1	
情報処理応用	2前	2		1		1	
フーリエ解析★	2後	2		1			
電気回路★	2後	2	1				
電気回路演習	2後	1		1		1	
【化学・応用物理学】							
物理化学I★	2前	2		1			
物理化学II	2後	2		1			
マテリアル科学実験★	3前	2	1	7		1	
科学技術英語B	4前	2	5	10		1	
【環境デザイン・環境科学】							

	環境数理A (環境科学のみ★)	2前	2		1	1		1		
	環境システム基礎製図★	2前	3		2	3				
	ランドスケープ・エコロジー★	2前	2			1				
	地域環境システム	2前	2			1				
	環境カルテ演習☆	2後	2		1	3				
	環境計測評価法Ⅰ (環境デザインのみ★)	3前	2			1				
	環境計測評価法Ⅱ (環境デザインのみ☆)	3後	2			2				
	ウェブデザイン演習☆	2前	2			2		2		【社会情報学・メディアデザイン】
	デザイン情報総合演習☆	3前	2			2	1	3		兼1
	ヒューマンインタフェース	3前	2							
	科学技術英語A	3後	2			1				
	データ解析★ (知能情報学のみ★)	2前	2		1					【知能情報学・メディアデザイン】 教育課程の見直しにより必修とするメジャーを変更 (27)
	ソフトウェアエンジニアリング★ (社会情報学のみ★)	3前	2		1	1				【社会情報学・ネットワーク情報学】 教育課程の見直しにより必修とするメジャーを変更 (27)
	ソフトウェアエンジニアリング演習 (社会情報学のみ☆)	3後	2			2		1		
専門選択科目	現代システム工学概論Ⅰ	3.4前・後 1-2-3-4 前→後	2		1					【インキュベーションユニット他】 授業内容の見直しにより配当年次を変更 (27) 授業内容の見直しにより配当年次を変更 (27) 授業内容の見直しにより配当年次を変更 (27) 兼1 兼1
	現代システム工学概論Ⅱ	3.4前・後 1-2-3-4 前→後	2		1					
	災害情報学	3.4前・後 1-2-3-4 前→後	2		1	1				
	経営学	2・3前・後	2							
	ビジネスシステム論	2・3前・後	2							
	技術者倫理	3前	2			2				
教員免許科目	物理学概論A	3前・後 1-2-3-4 前→後	2							【Super Science Teacher Program】 兼3 授業内容の見直しにより配当年次を変更 (27)
	物理学概論B	3前・後 1-2-3-4 前→後	2							兼2 授業内容の見直しにより配当年次を変更 (27)
	化学概論A	3前・後 1-2-3-4 前→後	2							兼1 授業内容の見直しにより配当年次を変更 (27)
	化学概論B	3前・後 1-2-3-4 前→後	2							兼1 授業内容の見直しにより配当年次を変更 (27)
	生物学概論A	3前・後 1-2-3-4 前→後	2							兼1 授業内容の見直しにより配当年次を変更 (27)
	生物学概論B	3前・後 1-2-3-4 前→後	2							兼1 授業内容の見直しにより配当年次を変更 (27)
	地学概論A	3前・後 1-2-3-4 前→後	2							兼1 授業内容の見直しにより配当年次を変更 (27)
	地学概論B	3前・後 1-2-3-4 前→後	2							兼1 授業内容の見直しにより配当年次を変更 (27)
自由選択	システム工学自主演習Ⅰ	1前 1-2-3-4 前→後	1		33 29	32 36	3 4	13 10		授業内容の見直しにより配当年次を変更 (27)
	システム工学自主演習Ⅱ	1後 1-2-3-4 前→後	1		33 29	32 36	3 4	13 10		授業内容の見直しにより配当年次を変更 (27)
	システム工学自主演習Ⅲ	2前 1-2-3-4 前→後	1		33 29	32 36	3 4	13 10		授業内容の見直しにより配当年次を変更 (27)
	システム工学自主演習Ⅳ	2後 1-2-3-4 前→後	1		33 29	32 36	3 4	13 10		授業内容の見直しにより配当年次を変更 (27)

科目	システム工学自主演習V	3前 1-2-3-4 前・後	1		33 29	32 36	3 4	13 10	授業内容の見直しにより配当年度を変更(27)	
	システム工学自主演習VI	3後 1-2-3-4 前・後	1		33 29	32 36	3 4	13 10		授業内容の見直しにより配当年度を変更(27)
	学外実習I	1.2.3.4前・後	2		10					
	学外実習II	1.2.3.4前・後		2	10					
卒業研究	卒業研究	4通	8		33 29				教員数の変化により変更(27)	

科目名の後ろの★は必修、☆は選択必修を表す。

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え直し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年度」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
11科目	326科目	1科目	338科目	11科目	338科目	1科目	350科目	
				[0]	[12]	[0]	[12]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	音楽学	2	1・2・3・4前後	一般	選択	教員の退職による、代替措置有
2	教養としての政治学	2	1・2・3・4前後	一般	選択	教育カリキュラムの見直しによる、代替措置有
3	世界の観光・日本の観光	2	1・2・3・4前後	一般	選択	教員の退職による、代替措置有
4	現代の観光	2	1・2・3・4前後	一般	選択	教員の退職による、代替措置有
5	21世紀図書館学	2	1・2・3・4前後	一般	選択	教育カリキュラムの見直しによる、代替措置有
6	和歌山の歴史と文化	2	1・2・3・4前後	一般	選択	教育カリキュラムの見直しによる、代替措置有
7	熊野古道と世界遺産	2	1・2・3・4前後	一般	選択	教育カリキュラムの見直しによる、代替措置有
8	大学生の読み書きⅡ	2	1・2・3・4前後	一般	選択	教育カリキュラムの見直しによる、代替措置有
9	わかやま海洋環境体験実習	2	1・2・3・4前後	一般	選択	教育カリキュラムの見直しによる、代替措置有
10	高齢化社会の住まいと地域環境	2	1・2・3・4前後	一般	選択	教育カリキュラムの見直しによる、代替措置有
11	みんなの科学入門	2	1・2・3・4前後	一般	選択	教育カリキュラムの見直しによる、代替措置有
12	食と農の経済学	2	1・2・3・4前後	一般	選択	教育カリキュラムの見直しによる、代替措置有
13	地域暮らしの安全学C	2	1・2・3・4前後	一般	選択	教育カリキュラムの見直しによる、代替措置有
14	西ヨーロッパの文学と社会	2	1・2・3・4前後	一般	選択	教育カリキュラムの見直しによる、代替措置有

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

教養科目の見直しにより廃止された科目もあるが、同時に科目の新設等も行っているため、教育の質は担保していると考え。学生への周知については、時間割表や履修手引をはじめ教務システム（LiveCampus）等により周知徹底している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.04}$$

3 施設・設備の整備状況、経費

該当なし

区 分		内					
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計		
	校 舎 敷 地	m ²	m ²	m ²	m ²		
	運 動 場 用 地	m ²	m ²	m ²	m ²		
	小 計	m ²	m ²	m ²	m ²		
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²		
	合 計	m ²	m ²	m ²	m ²		
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計		
		m ²	m ²	m ²	m ²		
		(m ²)	(m ²)	(m ²)	(m ²)		
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実 験 実 習 室	情 報 処 理 学 習 施 設	語 学 学 習 施 設		
	室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数			
		〇〇学部 〇〇学科		室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電 子 ジ ャ ー ナ ル 〔うち外国書〕	視 聴 覚 資 料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点
	〇〇学部	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()
	計	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	m ²						
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要					
	m ²						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
	教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
	学生1人当り 納付金	第1年次 千円	第2年次 千円	第3年次 千円	第4年次 千円	第5年次 千円	第6年次 千円
	学生納付金以外の維持方法の概要						

- (注) ・ 設置時の計画を、設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成27年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(27)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	和歌山大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
教育学部									
学校教育教員養成課程	4	145	—	580	学士(教育学)	1.04	平成11年度	和歌山市栄谷930	
総合教育課程	4	20	—	140	学士(教養学)	1.10	平成20年度	同上	
経済学部			3年次						
経済学科	4	110	4	448	学士(経済学)	1.02	昭和39年度	和歌山市栄谷930	
ビジネスマネジメント学科	4	110	4	448	学士(経済学)		平成4年度	同上	
市場環境学科	4	110	2	444	学士(経済学)		平成8年度	同上	
夜間主コース	4	—	—	—	学士(経済学)	—	平成4年度	同上	平成19年度より学生募集停止
システム工学部			3年次						
システム工学科	4	305	20	305	学士(工学)	1.00	平成27年度	和歌山市栄谷930	
情報通信システム学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成7年度	同上	平成27年度より学生募集停止
光エレクトロニクス学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成7年度	同上	同上
精密物質学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成7年度	同上	同上
環境システム学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成7年度	同上	同上
デザイン情報学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成7年度	同上	同上
観光学部									
観光経営学科	4	60	—	240	学士(観光学)	1.06	平成20年度	和歌山市栄谷930	
地域再生学科	4	50	—	200	学士(観光学)		平成20年度	同上	
教育学研究科 (修士課程)									
学校教育専攻	2	12	—	24	修士(教育学)	0.95	平成5年度	和歌山市栄谷930	
教科教育専攻	2	33	—	66	修士(教育学)	0.75	平成5年度	同上	
経済学研究科 (修士課程)									
経済学専攻	2	15	—	30	修士(経済学)	0.89	昭和43年度	和歌山市栄谷930	
経営学専攻	2	13	—	26	修士(経済学)	0.88	昭和43年度	同上	
市場環境学専攻	2	10	—	20	修士(経済学)	1.25	平成11年度	同上	
システム工学研究科 (博士前期課程)									
システム工学専攻	2	129	—	258	修士(工学)	1.00	平成12年度	和歌山市栄谷930	
(博士後期課程)									
システム工学専攻	3	8	—	24	博士(工学)	1.29	平成14年度	同上	
観光学研究科 (博士前期課程)									
観光学専攻	2	9	—	18	修士(観光学)	1.05	平成23年度	和歌山市栄谷930	
(博士後期課程)									
観光学専攻	3	6	—	12	博士(観光学)	1.25	平成26年度	同上	

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(国立大学法人)が設置している全ての大学(学部、学科)及び大学院(専攻)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成27年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・ 学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・ ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・ 専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・ AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<〇〇学部 △△学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
										該当なし

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成27年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
 - ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。**

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成		年齢構成(前年度の状況)	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
29	36	4	10	79	33	32	3	13	81	65	0	—	—
(33)	(32)	(3)	(13)	(81)	[+4]	[▲4]	[▲1]	[+3]	[+2]	歳	名	歳	名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成27年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
- ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成27年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
 - ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 - ・ 「年齢構成(前年度の状況)」については、報告書提出の前年度の状況を記載してください。今年度初めて報告書を提出する場合は記入不要ですので、「—」を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			該当なし
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記（3）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年△△月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<△△学部 □□学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block; font-size: 2em; font-weight: bold;">該当なし</div>

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <ul style="list-style-type: none">a 委員会の設置状況b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）c 委員会の審議事項等 <p>② 実施状況</p> <ul style="list-style-type: none">a 実施内容b 実施方法c 開催状況（教員の参加状況含む）d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <ul style="list-style-type: none">a 実施の有無及び実施時期b 教員や学生への公開状況、方法等	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block; font-size: 2em; font-weight: bold;">該当なし</div>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- ・ 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見</p> <p>② 自己点検・評価報告書</p> <p style="margin-left: 20px;">a 公表（予定）時期</p> <p style="margin-left: 20px;">b 公表方法</p> <p>③ 認証評価を受ける計画</p>	<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; display: inline-block;"><h1>該当なし</h1></div>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------

- (注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書	
a ホームページに公表の有無	(<input checked="" type="radio"/> 有) (予定) ・ (<input type="radio"/> 無)
b 公表時期（未公表の場合は予定時期）	(平成27年 6月 日 予定)